

令和4年度
Kokoro College Japan
学校自己評価結果報告書

令和5年4月1日

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
(平成25年) 準拠

1. 学校の教育目標 令和4年度

- 1 岩永学園グループビジョン
「地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる」
- 2 学園ビジョン実現に向けたテーマ
地域社会から必要とされる組織であり続ける。
地域社会から必要とされる人材を提供する。
- 3 基本方針
 - (1) 岩永学園グループの組織体として秩序ある学校運営体制を確立する。
 - (2) 留学生の日本語教育向上のため講師研修及び業務のスリム化を図る。
 - (3) 安定した学校経営のため、重点化を図り全職員が協働して課題解決を図る。
- 4 学校経営スローガン
 - (1) JLPTのN4以上の日本語力の推進
 - (2) 地域に信頼される日本語学校
 - (3) 全寮制を活かした日本文化教育の推進
- 5 重点目標
 - (1) 留学生のオーバーワークについて徹底した注意喚起と監視を行う。
 - (2) 教職員の協働体制を明確にし、全職員が各自努力目標を設定し業務を遂行する。
 - (3) 快適な寮生活が送れるように学生自身による環境美化活動を推進する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	学校の理念は、学生便覧等にも掲載され明確である。「等しく可能性を信じ」、「専門分野の深い知識」のみならず、「誠実、気力、知恵と行動力」を育むことで「社会に貢献」する姿勢は専門学校の理念として相応しく、人格と専門分野での知識・技能を備えた信頼される人材を輩出することで社会に貢献することが目的である。 【教職員アンケート 質問1 4】
・学校における職業教育の特色は何か。	4	3	2	1	各学科とも専門的な経験を積んだ専任教員を中心に、各業界との連携を重視し、理論と実践のバランスのとれた教育を実施している。各業界の現場で活躍する非常勤講師を豊富に揃え、学生に適切な現場実習の機会を提供するよう努めている。 【教職員アンケート 質問2 3.5】
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1	今後、さらに進行する少子高齢化に備え、老人福祉施設、医療機関や地域社会との密接な連携を推進し、社会のニーズに合った将来を見通した学校経営をしている。 【教職員アンケート 質問3 3】
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1	オープンキャンパス等の入学前ガイダンスを通じて、また、入学後も保護者説明会、オリエンテーション、定期的校内広報紙、HPでの情報公開等を通じて、繰り返し周知を図っている。全校生に対する学生アンケートを利用して、周知状況は確認している。 【教職員アンケート 質問4 2.5】
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	3	2	1	職業実践専門課程の運営にあたり、各学科と関連業界との情報交換は年間を通じての分科会も設定するなど、年々充実しており、将来的な業界のニーズに対する理解も深まっている。卒業生が将来的な業界のニーズにも応えられるように、各学科ごとのディプロマポリシーを定めている。 【教職員アンケート 質問5 3.5】

①課題

新体制になり新しい職員が多く、教職員が学園グループ及び学校の社会的な意義を十分に理解しているとはいえない。

②今後の改善方策

学園グループの教職員研修会、留学生担当者会議、その他研修等に参加する。

③特記事項

3. 評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1	地域の医療・福祉を包括的に支援できる教育機関として成長するという岩永学園グループの目的を実現するため、グループ内の社会福祉施設はもちろん、地域の病院、福祉施設、整骨院等の業界との連携を密にし、より実践的な教育を目指した運営方針が策定されている。
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	3	2	1	事業計画は、地域の医療・福祉を包括的に支援できる教育機関となるという学校の運営方針に沿って、毎年度初めに2年、3年後までの見直しをもった具体的な事業計画が示されている。
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	3	2	1	学校運営方針に基づき、各種委員会組織を設置し、定期的な部課長・学科長会議および職員会議を開催し、具体的な活動計画を定め、実行している。
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	3	2	1	就業規則により明確に定められている。
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	3	2	1	教務担当の教務部と総務部学務課、財務担当の総務部総務課がそれぞれ整備されている。
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1	地域自治会への積極的参加、教育課程編成委員会等を通じて、業界や地域社会へのコンプライアンス体制が整備されている。 【教職員アンケート 質問11 3.5】
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1	教育課程編成委員会、学校ホームページや、学生募集活動におけるガイダンスやオープンキャンパスなどを通じて、積極的に教育活動を外部に対して情報公開している。求められている内容について、可能な限りの手段で積極的に外部への情報公開をしている。 【教職員アンケート 質問12 3】
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1	従来から学校内情報システムのネットワークが整備されていたが、現在、より機能を充実させた自社開発の新システムがほぼ完成し、運用を始めている。従来のシステムに比べて、さらに有効に機能している。 【教職員アンケート 質問13 2.5】

①課題

ホームページによる情報発信が整備されていない。

②今後の改善方策

新体制になり、新しい情報公開や情報発信のベースを作る。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(3) 教育活動

評価項目	適切: 4, ほぼ適切: 3, やや不適切: 2, 不適切: 1				
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3	2	1	本校の教育理念に基づき、関連業界とも連携しながら社会に役立つ人材の育成に向けて、実践的な職業教育を意識して教育課程の編成と実施が実行されている。
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき修業年限や学習時間、目標とする到達レベルが明確にされている。
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき体系的なカリキュラム編成を行っている。
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	3	2	1	教育課程編成委員会等を通じてより実践に近い形での教育が行われるよう工夫に努めている。 【教職員アンケート 質問17 3】
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4	3	2	1	臨床実習や介護実習を通して、産学連携による実践的な職業教育がなされている。
・授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	3	2	1	前期と後期の終わりに、すべてのクラスで授業評価アンケートを実施し、アンケート結果を集計し、学校自己評価の評価材料としている。
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	3	2	1	専門課程はいずれも職業実践専門課程として認可を受けており、教育課程編成委員会およびその分科会も開き、外部評価を受けている。
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	3	2	1	学則および各種規程に基づき、成績評価、単位認定、進級判定、卒業判定の基準は明確にされている。
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき、資格取得に関する指導体制、カリキュラムなどが体系的に位置づけられている。
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	3	2	1	国家資格の養成施設指定規則に則り、適切な資格要件はもちろん、臨床指導力も優れた教員を確保している。 【教職員アンケート 質問23 3.5】
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	4	3	2	1	教員の一部は、関連業界との連携を深め実践的な知識と技術を維持するように、臨床現場も業務の中に組み込みながら、教育業務とのバランスをとっている。関連業界とは教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会などを通じて、定期的に現場と学校教員との意識や知識の共有を図っている。
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4	3	2	1	教員が関連の主要な学会や研修会に参加して、研鑽を積み取り組みをしている。また、新任教職員に対して、全般的な組織理解や指導力向上のための研修を実施している。
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1	毎年年に3回全職員による教職員研修会を開催した。その他、必要に応じて教職員を選び適宜、外部の研修に参加させている。

①課題

新体制で休校明け1期生の受入れとなり、カリキュラムの調整が必要と思われる。

②今後の改善方策

グループ各校と連携し、カリキュラムの見直しに着手する。

③特記事項

特になし。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(4) 学修成果

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1	業界の信頼もいただき、就職率は各学科とも毎年、100%と高い水準が維持されている。
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1	資格取得率の向上は図られている。国家資格試験の合格率は、全体的に全国平均以上の結果である。 【教職員アンケート 質問28 3】
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1	問題を抱える学生およびその家族とは頻繁に面談を行い、退学率の低減に努めている。 【教職員アンケート 質問29 3.5】
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1	卒業生の業界での活躍の情報を在校生に周知し、学習意欲の向上にある程度役立っている。
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1	同門会組織が充実して、卒業生の体験を聞く機会をもっている。同窓会組織のない学科でも、外部講師による講習会を実施の際は、卒業生も広く呼びかけ、キャリア形成の促進に努めている。 【教職員アンケート 質問31 3.5】

①課題

今年度入学者のみのため未受験となっている。来年度の受験に向け準備が必要である。

②今後の改善方策

日本語能力検定試験の目標をN4～70%, N3～40%, N2～20%に設定し、その取組を計画的に推進する。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	関係企業に呼びかけ校内で就職説明会を開くなど、在校生の就職活動を支援している。また、卒業後も学園グループの人材紹介事業会社を通じて就職活動の支援に努めている。 【教職員アンケート 質問32 3.5】
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1	クラス担任を通じた相談、心理カウンセラー窓口を通じた相談等、複数の相談窓口もを整備している。 【教職員アンケート 質問33 3.5】
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	私立専門学校授業料等軽減補助金(高等教育無償化)機関認定を受けている。また、各種奨学金申請及び採用にかかわる手続きの支援を積極的に行い、並行して経済的状況に応じた校納金分納の相談にも応じている。併せて、今年度は新型コロナに関する各種支援制度の活用を積極的に進め学生支援を実施している。
・学生の健康管理を担う体制はあるか。	4	3	2	1	定期的な健康診断はもちろん、常勤看護師を中心とした衛生管理、生活指導委員会を中心とした安全・衛生指導を通じて、学生の健康管理の指導を徹底している。 【教職員アンケート 質問35 2.5】
・課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	支援制度により学生団体活動が整備されていて、有効に機能している。 【教職員アンケート 質問36 3】
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4	3	2	1	遠隔地からの通学者の支援を行っている。特に島原地区からは往復のスクールバスを運行している。また、最寄の駅から学校へのスクールバスを運行し通学への支援を行っている。留学生寮の設置及び整備を進めている。 【教職員アンケート 質問37 2.5】
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1	入学前からの面談、入学後の保護者説明会、成績状況に応じた適宜の保護者面談等を通じて、保護者との連携を重視している。 【教職員アンケート 質問38 2.5】
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1	不定期ながら、主に卒業生を対象に上級の専門知識や技能の公開講座を開いている。また、卒業生に対しても、就職や転職の情報交換の場を提供し、卒業後の支援にも努めている。(今年度は新型コロナのため実施していない) 【教職員アンケート 質問39 3】
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	3	2	1	学校が高台中腹にあり、通学に若干負担があるため、働いている社会人が多い夜間部の学生には、校内への車の乗入れを許可制にしている。また、最寄り駅に、迎いのスクールバスを出している。 【教職員アンケート 質問40 3】
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	2	1	高校でのガイダンス授業に加え、高校の要望に応え正規の時間割での定期的な出前授業を実施している。 【教職員アンケート 質問41 3】

①課題

学生同士の交流が不足している。学業以外の面で、他のクラスと接する機会を増やし、学校と寮での生活を充実させることで学習意欲を向上させ、活気のある学生生活を送れるようにする。

②今後の改善方策

地域行事への参加に加え、季節ごとにイベントを増やす。

③特記事項

特になし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(6) 教育環境

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1	
・施設・設備は, 教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4 (3) 2 1	施設基準は満たしており, なおかつ教室および共有区域などはスペースを確保している。備品の一部には開校以来の物もあり, 老朽化しつつあるものもあるが, 教育上の支障がないよう, 備品管理委員会が中心となって適時, 更新している。
・学内外の実習施設, インターンシップ, 海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4 (3) 2 1	学外の必要な臨床実習施設は確保している。 【教職員アンケート 質問43 2.5】
・防災に対する体制は整備されているか。	4 (3) 2 1	防災訓練は最低年1回は全校で実施している。各設備の防災責任者が定められている。毎年度, 防災組織の指示系統が更新されている。 【教職員アンケート 質問44 2.5】

①課題

学生の防災に対する意識の低さがある。
設備老朽化による修繕を要す部分がある。

②今後の改善方策

新入生を中心に防災に関する教育を実施する。
安全・衛生面を優先し補修していく。

③特記事項

特になし。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・学生募集活動は、適正に行われているか。	4	3	2	1	高校新卒者の募集にあたって、入学試験を10月以降に実施しているが、出願については県の専門学校各種学校連合会での取り決めに沿う必要がある。その他、学生募集は適正に行われている。 【教職員アンケート 質問45 3.5】
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1	学生募集活動において、卒業生の就職率、資格試験の合格率、退学率など、正確に伝えられている。 【教職員アンケート 質問46 3】
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1	本校の学納金は、同分野の他の学校の平均的な水準と同等である。 【教職員アンケート 質問47 3.5】

①課題

募集は順調であり、来年度4月生で定員を充たす状況となっている。

②今後の改善方策

新型コロナ後の学生募集の在り方を再考する。

③特記事項

特になし。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(8) 財務

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1	少子高齢化の中、入学者数の確保のため学科等の教育内容の刷新を行うとともに、経費の圧縮等で財務基盤の安定化を図っている。
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3	2	1	予算作成に際して、理事長査定を実施し、適切な予算管理を行っている。
・財務について会計監査が適性に行われているか。	4	3	2	1	適時、内部監査を実施している。
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1	HPでの情報公開等しっかりと対応できている。

①課題

新型コロナウイルスの影響から、入学生がいない状態が続いていた。

②今後の改善方策

募集事業だけではなくグループ内の付帯事業を担当する。
比率の高い人件費を抑えるため、常勤教員の担当コマ数を増やしていく。

③特記事項

3. 評価項目の達成及び取組状況

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・法令, 専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	3	2	1	学校教育法, 養成施設指定規則等の法令に従った適正な運営がなされており, 申請書, 届出書, 学校運営に係る記録等は確実に保管されている。国や県の監督部署の指導調査で指摘された事項は改善されている。
・個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1	学生個人調書等の個人記録は施錠できるキャビネットに保管して部外者のアクセスを防止すると共に, 情報の持ち出しを禁じている。全職員を通じて, 個人情報管理意識の向上に努めている。
・自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	4	3	2	1	学校自己評価委員会の下, 各項目に対して, 自己評価を実施し, 各部署, 学科でそれぞれの問題点は具体的に把握し新委員会による横断的な点検と改善も併せて推進している。
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1	自己評価結果は学校ホームページ上で公開している。

①課題

個人情報等の保護について, デジタル保管も含め再考の余地がある。

②今後の改善方策

帳票保管からデジタルでの個人情報等のバックアップを行い保管するように努めていく。情報の管理、破棄についても担当者を専任する。

③特記事項

特になし。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1			
<p>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。</p>	<p>4 3 2 1</p>	<p>外部講師の講習会等で学校の教育設備を利用いただいたり、学生の地域ボランティア活動や、学校設備の地域自治会への利用、災害予防のための一時避難場所等の提供を行っている。</p>		
<p>・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。</p>	<p>4 3 2 1</p>	<p>ボランティア募集情報を全学生にも周知し、地域ボランティア依頼の受入れ、実施のシステムを構築している。学校を通じたボランティア募集による活動は、必要に応じて教員も引率を行い、把握している。 【教職員アンケート 質問57 3.5】</p>		
<p>・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。</p>	<p>4 3 2 1</p>	<p>職業訓練校からの委託を受けて受講者の教育を積極的に実施している。健康講座など一般向け講座も独自に企画し地域の自治会で開催しており、成果は参加者アンケートを取り、評価されている。受託事業の管理と報告は適性になされている。</p>		

①課題

休校していたこともあり、地域行事に参加することがなくなり疎遠になっている。

②今後の改善方策

地域との連携を深める。
自治区の小学校運動会などへ参加を再興させ交流を図っていく。

③特記事項

特になし。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(11) 国際交流

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	4	3	2	1	外国人留学生在が資格取得可能な学科については、留学生の受入れを積極的に行っている。資格取得学科に進学が可能となる日本語科も平成30年度から設置している。 【教職員アンケート 質問59 3.5】
・留学生の受入れ・派遣, 在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4	3	2	1	外国人留学生の受入れに関し, 専門の職員を配し, 現地での慎重な審査を行ったうえで適切な入国管理手続きを行っている。在校生については日々の記録を整備し, 適切な在籍管理を行っている。 【教職員アンケート 質問60 3.5】
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1	留学生担当の職員を配するほか, 学科を横断した教員による留学生の学習, 生活指導担当の委員会を作り, 全校をあげての組織的な取り組みを行っている。
・学習成果が国内外で評価される取組を取っているか。	4	3	2	1	海外向けサイトの登録の他情報配信している。

①課題

本校独自の国際交流の場を創設しなければならない。

②今後の改善方策

島原市には民間の国際交流協会があり, 長崎市と連携した取組みがなされており, 連携を検討する。

③特記事項

特になし。

1. 学校の教育目標 令和5年度

- 1 岩永学園グループビジョン
「地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる」
- 2 学園ビジョン実現に向けたテーマ
地域社会から必要とされる組織であり続ける。
地域社会から必要とされる人材を提供する。
- 3 学校経営スローガン
「心をこめて、心をつなぎ、心を育む教育を！」
～One Team for Happiness in Mind～
- 4 重点教育目標
 - (1) 安心・安全な教育環境の構築
 - (2) 心身ともに健全な生活習慣の確立
 - (3) 礼節を重んじ、他者を尊ぶ人格の形成
 - (4) 地域社会への貢献と地域住民との交流
 - (5) 日本語実用能力, 4技能(RWLS)の育成
 - (6) 充実した進路指導と個々の進路実現支援

2. 令和5年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 適切な学習環境の整備
- (2) 清潔な生活環境と自主・自律のルール作り
- (3) 「挨拶」「学習」「清掃」の凡事徹底
- (4) 日々の「感動」「感謝」体験
- (5) 学習活動と実社会体験からの学びの連携
- (6) 地域清掃活動や文化活動への積極的な参加
- (7) JLPT N4の全員合格, N3、N2への挑戦と取得
- (8) 教職員のスキルアップ
- (9) 授業の充実と定期的な個別面談
- (10) 校納金の計画的な徴収(修了・卒業認定)
- (11) 関係各校, 機関、施設等との連携
- (12) 個と全体のHappinessの追求